

2014年



トンペイ
東北クラブ

第38回 宮城県サッカーリーグ2部 成績表

	七郷クラブ	多賀城FC	ARDORE桑原	FC.IZUMI	一高済美SC	東北クラブ
七郷クラブ		1 - 1 △ 5 - 3 ○	3 - 2 ○ 2 - 1 ○	2 - 1 ○ 5 - 2 ○	2 - 2 △ 0 - 2 ●	0 - 2 ● 5 - 3 ○
多賀城FC	1 - 1 △ 3 - 5 ●		2 - 3 ● 0 - 3 ●	7 - 1 ○ 4 - 3 ○	2 - 2 △ 6 - 0 ○	2 - 1 ○ 1 - 3 ●
ARDORE桑原	2 - 3 ● 1 - 2 ●	3 - 2 ○ 3 - 0 ○		3 - 0 ○ 4 - 3 ○	2 - 1 ○ 3 - 0 ○	3 - 2 ○ 0 - 2 ●
FC.IZUMI	1 - 2 ● 2 - 5 ●	1 - 7 ● 3 - 4 ●	0 - 3 ● 3 - 4 ●		2 - 3 ● 2 - 2 △	2 - 3 ● 1 - 8 ●
一高済美SC	2 - 2 △ 2 - 0 ○	2 - 2 △ 0 - 6 ●	1 - 2 ● 0 - 3 ●	3 - 2 ○ 2 - 2 △		1 - 5 ● 4 - 3 ○
東北クラブ	2 - 0 ○ 3 - 5 ●	1 - 2 ● 3 - 1 ○	2 - 3 ● 2 - 0 ○	3 - 2 ○ 8 - 1 ○	5 - 1 ○ 3 - 4 ●	

第38回 宮城県サッカーリーグ2部 順位表

順位	チーム名	試合数	勝ち	負け	分け	得点	失点	得失点	罰則点	勝ち点
1	七郷クラブ	10	6	2	2	25	19	6	0	20
2	東北クラブ	10	6	4	0	32	19	13	0	18
3	ARDORE桑原	10	7	3	0	24	15	9	-3	18
4	一高済美SC	10	3	4	3	17	27	-10	0	12
5	多賀城FC	10	4	4	2	28	22	6	-3	11
6	FC.IZUMI	10	0	9	1	17	41	-24	-3	-2

* ARDORE桑原、多賀城FC、FC.IZUMIは

宮城県サッカーリーグ懲罰規定(1)項 運営委員会、臨時運営委員会及び開会式に欠席した場合に1回抵触したため、罰則として、最終勝ち点より勝ち点3を減じている。

■2014社会人大会 2回戦・試合結果

2014-04-06(日) 社会人選手権1回戦 対七郷クラブ

試合開始：15:10 (40分ハーフ) 加美町愛宕山公園グランド

【結果】2-1 で勝ち。

【得点者】 大高2点

【アシスト】 茂木、三好

【スタメン】

G K : 残間 謙

D F ; 加茂洋平、知場三周、後藤泰治、岡村博輝

M F : 桑原卓哉、金田和鷹、茂木淳、三好就英

F W : 大高康佑、蔡亮成

【控え】 阿部健康、野口憲太

【交代】 桑原卓哉→野口憲太(後半20分)、岡村博輝→阿部健康(後半25分)

【反則】 金田和鷹

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富寿、

■2014天皇杯 1回戦・試合結果

2014-04-13(日) 天皇杯1回戦 対FC SENDAI

試合開始：12:00 (40分ハーフ) 利府県Cグランド

【結果】 0-6 で負け。

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】

G K : 印藤健也

D F ; 加茂洋平、知場三周、金田和鷹、野口憲太

M F : 才田悠人、茂木淳、残間謙、三好就英

F W : 大高康佑、阿部英次郎

【控え】 なし

【交代】 なし

【反則】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、船橋富寿、小川修一

【評】

「FC SENDAI」仙台大学のサッカーチームらしいと聞いていたが、その内容は皆目わからなかった。

先週、全国社会人選手権1回戦を勝って、天皇杯も1回戦を突破したいという思いで臨んだ試合だった。しかし、試合をしてみてパワー、スピード、パスの連携、突破力いずれも相手が優っていた。

東北クラブの試合内容が悪い訳ではなかったが、相手はもう既に何試合もこなしているかのようなチームワークと試合運びをしてきた。5月位にやっと試合に慣れて、新しいチームメンバーとの連携もうまく行きはじめた我々とはチームの完成度が段違いだった。

前半3点、後半3点、敵ながら見事なシュートを次々と決められタイムアップとなった。

我々にもチャンスが全く無かった訳ではない。後半、大高が何度も激しいボディチェックを受けながらも、右からバックスを抜いてアーリークロス、茂木が相手に競り勝ってシュート、惜しくもバーの上を越したが素晴らしい流れだった。キーパー印藤も再三再四ドリブル突破されて、ゴール前で打たれるシュートを何本も無にした。DFも相手のパスコースを読み、体を張ってボールを止め、何度もピンチを未然に消した。しかし、今日は相手が優っていたと素直に認めよう。

次の試合は、体もスピードにも慣れ、きっと楽にできるだろう。

(鈴木修平記)

■宮城県リーグ2部第1節・試合結果

2014-04-20(日) 宮城県リーグ2部① 対一高済美

試合開始: 11:00 (40分ハーフ) 加美町陶芸の里G

【結果】5-1 で勝ち。

【得点者】 阿部(英)PK、蔡、桑原、阿部(英)、茂木

【アシスト】 阿部(英)、知場、才田(CK)、小松

【スタメン】

GK: 残間 謙

DF: 知場三周、茂木淳、木村燎平、阿部健康、

MF: 桑原卓哉、才田悠人、蔡亮成、三好就英、

FW: 阿部英次郎、大高康佑

【控え】 小松天道、野口憲太、船橋富寿、秋保盛樹、佐々木元樹

【交代】 阿部健康→野口憲太、三好就英→小松天道

【反則】 木村燎平

【ベンチ】 船橋富寿、秋保盛樹、佐々木元樹、小川修一

(記: 船橋富寿)

■宮城県リーグ2部第2節・試合結果

2014-05-11(日) 宮城県リーグ2部② 対多賀城FC

試合開始：14:00 (40分ハーフ) 泉サッカー場西G

【結果】1-2で負け。

【得点者】阿部(英)

【アシスト】才田、

【スタメン】

GK：印藤健也

DF；加茂洋平、金田和鷹、知場三周、遠藤巧

MF：桑原卓哉、松浦弘志、才田悠人、茂木淳

FW：阿部英次郎、大高康佑

【控え】残間諒、阿部健康、蔡亮成、三好就英、木村燎平、小松天道、船橋富寿、秋保盛樹

【交代】知場三周→木村燎平、遠藤巧→阿部健康、松浦弘志→蔡亮成、桑原卓哉→三好就英、才田悠人→小松天道

【反則】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、船橋富寿、小川修一

(記：鈴木修平)

■2014社会人大会3回戦・試合結果

2014-05-18(日) 全国社会人選手権3回戦 対TOHOKU FC

試合開始：10:00 (40分ハーフ) 松島フィットボールセンター天然芝G

【結果】2-2からPK戦(4-2)で勝ち。

【得点者】阿部(英) 2点(PK 1点)

【アシスト】金田(FK)、茂木(PK)

【スタメン】

GK：印藤健也

DF；加茂洋平、金田和鷹、知場三周、木村燎平

MF：桑原卓哉、才田悠人、茂木淳、蔡亮成

FW：阿部英次郎、小松天道

【控え】残間諒、後藤泰治、野口憲太、三好就英、小浜大山、遠藤巧

【交代】知場三周→遠藤巧(後半20分)、小松天道→三好就英(後半25分)

【反則】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、船橋富寿、吉田和朝、高橋一平

【評】

今日の試合は、滅多に見られない珍しいカードだった。全国社会人選手権3回戦、相手は「TOHOKU FC」、東北大学学友会サッカー部のBチームである。同学の先輩・後輩が合い間見えることとなった次第である。

おまけに、我々の会場の松島フットボールセンター天然芝グランドの隣の人工芝グランドでは、東北大学学友会サッカー部Aチームと東北大学医学部の大臣杯が行われていた。

試合は、2試合を攻撃的サッカーで勝ち進んできたTOHOKU FCの若さ溢れるプレーに対し、ペース配分を考えながら自分たちの流れに持ちこんで勝負しようとする東北クラブの一進一退の攻防で進んだ。2試合を高得点で勝ち抜いてきただけあって、スピードあるプレーには目を見張るものがあった。中央から、左サイドから、右サイドからそのスピードを生かして攻めてきた。それが功を奏し、前半26分中盤から左へパスがつながると、スピードあるドリブルであつという間にDFをかわしペナルティエリアまで来た。低く強烈なシュートはキーパーのセービングを無にしてゴール右隅に突き刺さった。これは、相手を誉めるしかないプレーだった。

東北クラブも、試合内容は悪くはなかったが、確実に点を取る形にならないまま時間が過ぎ、不運にもゴール前のアクシデントで2点目を失う。ハーフタイムで、隣の試合は3-0で東北大Aチームが勝っているという情報が入った。こちらの方もBチームが勝って「アベック勝利」になる結果が脳裏をよぎる。

しかし、後半に入ると徐々にパスがつながり、攻撃のリズムができはじめた。DFのクリアをMFが拾い、中盤で左右に振って、両サイドから崩しにかかる。得点になりそうな場面が多くなっていった。後半8分、中盤右でフリーキックを得る。キッカーは金田、狙いどおりボールは阿部(英)にぴたりと渡る。振り向きざまにDFをかわしてシュート、相手DFの必死の守りもむなしくボールはゴール左隅へ。コンマ何秒プレーにタイムラグがあつたら決まらなかつたであろうシュートだった。

そして、後半19分。右サイドから茂木がドリブルでDFを崩す。持ち前のボール・コントロールとスピード、それにボディバランスが加わってDFは必死に守るがあつという間にゴールライン上、ゴール目の前まで来てしまった。3人くらいに囲まれても茂木はボールを十分にコントロールしていた。ゴールエリア付近まで詰めていた味方が茂木を呼ぶ。これにパスされれば間違いなく1点。これは倒してPKになっても、もしかして外

してくれる可能性がゼロではない・・・相手D Fにはそういう思いがよぎつたであろう。茂木は倒され、当然P Kとなった。キッカーは阿部(英)、残念ながら外さなかつた。2点ビハインドから2点を返し、同点となつた。

試合は2-2のままPK戦へ突入した。1人目はお互い決めて1-1。2人目は決まって当然と見えた、左への低いボールを印藤がキャッチ、2-1。ベンチから大歓声が湧いた。3人目も右へコースを変えてきた相手を読んだか、これも阻止して3-1。結果4-2でこの珍しい同学の先輩・後輩対決は幕を下ろした。

「TOHOKU FC」の今日の試合内容を観て、いいところを伸ばしていくべき試合を重ねるごとに巧くなっていくんだろうという予感がする。是非、個人のレベルを上げるとともに、チームとしての力も上げていいく試合をしてくれることを期待したい。余計なお世話ながら、前半21分、左からゴールラインまでドリブル突破してセンタリング、ゴール前で決定的な場面があつた。もしこれを決めていれば前半3-0で、勝負に負けることはまず無かつただろうと思う。

(記：鈴木修平)

■2014クラブチーム選手権・3回戦試合結果

2014-05-25(日) 全国クラブチーム選手権3回戦 対登米SC

試合開始：13:30 (30分ハーフ) 松島フィットボールセンター人工芝G

【結果】2-0 で勝ち。

【得点者】蔡、後藤

【アシスト】大高、阿部(英)

【スタメン】

GK：残間 謙

D F；加茂洋平、金田和鷹、知場三周、後藤泰治

MF：才田悠人、蔡 亮成、三好就英、木村燎平

F W：大高康介、阿部英次郎

【控え】なし

【交代】なし

【反則】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【評】

先週と同じ松島フットボールセンターでの試合だった。今回は人工芝で天然芝に比べボールのコントロールも楽に見えた。天気予報では29度を予想していたが、幸いにも曇りで湿度はあるものの気温はそれほど上がらなかつた。

今日の相手は登米SC。自分が監督をしてからこれまで対戦したことはないチームだ。30分ハーフなので先制点が有利になることは誰にでも明らかだった。お互いパスを回してリズムを作り、中央から、両サイドからDFを崩しにかかる。チャンスはあるがなかなか得点にはならなかつた。

前半終了間際の28分、大高が中盤からつながったパスを受け、右サイドからドリブルで切り込む。ゴール前でキーパーと絡みながらもシュート。キーパーの前にボールがこぼれる。鋭く詰めた蔡が角度のないコースを右隅に決めた。相手にとっては、最も嫌な時間帯での失点だったに違いない。

後半に入って6分、あれよあれよと思う間に相手FWが中央から抜け出しDFをかわし、気が付いたらキーパー残間と1対1という状況になった。誰もが1点を覚悟した。こういう場面では九分九厘ゴールされるのが常だ。そして、相手FWが左上隅を狙ってシュートした。キーパー残間は、千手観音のように右手を伸ばしシュートを弾いた。それがあまりにも自然な動きだったので、大歓声も上がらなかつたほどだ。もし、この1点が入っていれば1-1となり、時間帯から言っても勝敗はどちらに転んだかわからない。そういう意味で今日の勝敗を分けたスーパー・プレイと言って良いだろう。

相手チームに比べ若い選手が多い分、運動量もスピードも優っていたようと思うが、同じスピードなので相手が慣れてしまった感はある。もっと緩急をつければこのスピードが生きるだろう。次回に活かしたいところだ。

2点目も後半残り3分だった。右コーナーキックが起点となり、阿部(英)がペナルティーエリアまで切り込み、ゴール前に狙いすましてパス。これを後藤がきっちりサイドキックで合わせる。スピードあるボールはセービングしたキーパーの手を超えて左隅に決まる。これで勝負は決まった。40分ハーフと30分ハーフの10分の差は思った以上に大きいことを実感した試合だった。

(記：鈴木修平)

■2014社会人大会準々決勝・試合結果

2014-06-08(日) 全国社会人選手権4回戦 対仙台sasuke FC

試合開始：13:10 (40分ハーフ) 宮城スタジアム補助競技場

【結果】2-3 で負け。

【得点者】蔡、茂木

【アシスト】才田、知場(CK)

【スタメン】

GK：印藤健也

DF：知場三周、金田和鷹、後藤泰治、野口憲太

MF：才田悠人、茂木淳、蔡亮成、三好就英

FW：阿部英次郎、大高康佑

【控え】なし

【交代】なし

【反則】野口憲太

【ベンチ】鈴木修平、船橋富寿、吉田和朝

【評】

今年は例年より早く梅雨に入った。梅雨なので仕方ないのだが、雨の試合は気が重い。一度濡れてしまえばそれまでなのだが、それまでが何度もやつても慣れない。

全国社会人選手権4回戦（準決勝），相手は仙台sasuke.FC、東北社会人サッカーリーグ2部南所属のチームだ。グランドは、宮城スタジアムの補助競技場。小雨の降りしきる中、試合は始まった。

雨のせいで、ボールが滑る。バウンドが手元で伸び、スピードを加速させてくる。両チームとも長くボールを支配することが難しく、単発な攻撃に終始していた。お互いチャンスはあるものの、キーパーの好守もあって0-0で進んだ。

均衡を破ったのは東北クラブの方だった。前半22分、ゴール前の混戦からボールが、ペナルティ・エリアからセンター・サークル方向へ流れた。これに鋭く反応した「蔡」、迷わず右足を振り抜いた。20m以上はあつたと思う。蹴った瞬間何とも言えない鈍い音がしたボールは、超低空の弾道のまま目にも止まらぬスピードでゴール右隅下に突き刺った。滅多に見られないシュートに両チームとも一瞬声が出なかつたほどだ。

これで試合の流れはこちらに傾いたように見えた。しかし、前半のアディショナル・タイムにキーパー印藤を不運が襲う。センター付近からのロビングをゴール・エリア角で、飛び込んできた相手より一瞬早くボールを頭上でキャッチ、誰もがほつとした次の瞬間、ボールは手からすり抜けて後逸、相手選手の目の前に転がる。1点献上となってしまった。

気を取り直して後半に入る。雨足はさらに強くなり、時折シャワーのよう顔面をたたく。相手もスピードがあったが、東北クラブも負けてはいなかった。右から、左から長い距離を相手を振り切ってセンタリングを上げる。何度も惜しい場面があった。そして後半21分、待望の2点目が入る。右からのコーナーキックを茂木がゴール前で難しい体勢からヘディング・シュート。キーパーは素晴らしい反応でセービングしたが、ボールが速すぎて間に合わなかった。

2-1となり、逃げ切れるかと思ったのが気の緩みだった。後半29分、何回も中央から、左右に展開してゴール前に迫る相手のパターンだったが、たまたまFWに長いゴロのロング・パスが出た。普通なら追いつけないボールであった。キーパーはいち早く危険の芽を摘むべくダッシュした。しかし、ボールは止まり、相手の方が一瞬早くボールに触り、ゴールを許してしまった。確かに雨の日はこういう場面は予測される。キーパーは止まるかも知れないと予測して待つ方がいいのだろうか？結果から言えば、そうだったかも知れない。しかし、結果など誰にもわからない。私はキーパーのこの判断に納得している。

終了間際の39分、右からDFの守備を破られ、きれいなセンタリング、これに合わせられて逆転を許す。2-3でタイムアップの笛が鳴った。幸運の女神は今日は我々には微笑まなかつたようだ。

(評:鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第3節・試合結果

2014-06-22(日) 宮城県リーグ2部③ 対七郷クラブ

試合開始: 10:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Bグランド

【結果】2-0 で勝ち。

【得点者】 大高, 三好

【アシスト】 蔡, 才田

【スタメン】

GK: 印藤健也

DF: 知場三周, 小浜大山(初), 茂木淳

MF: 才田悠人、三好就英, 蔡亮成, 阿部英次郎

FW: 大高康佑, 船橋富寿, 残間諒

【控え】 高橋一平, 佐々木元樹, 吉田和朝

【交代】 船橋富寿→高橋一平(初)

【反則】 なし

【ベンチ】鈴木修平、吉田和朝、佐々木元樹、小川修一、（嶺岸優）

【評】

県リーグ3戦目、相手は4月6日全国社会人選手権で開幕戦を戦った「七郷クラブ」。あの時は、シーズン開始早々ということもあって、お互い体もチームもできていなかったが、3ヶ月を過ぎ本来の力が発揮できる状況になっているように見えた。

小雨が降りかかるが、芝生のおかげでそう大きな影響は無いようであった。相手は、前回の借りを返すべく最初からスピードあるパスワークで攻撃をかけてくる。自チームでは、初めて出場する選手もいて、慣れるまで一抹の不安もあったが、試合が進むにつれそれは杞憂に終わった。

両チームとも、得点になつても良い場面が何度もあったが、DF・キーパーの好守もあって0-0のまま進んだ。

前半25分、蔡が中盤を左からドリブルで左側を少しぶちながら走る。センターラインを少し越えた辺りまで来た時、ペナルティ・エリア右から大高がゴール前に走る。ここでイメージした得点シーンは、「速いライナー性のボールがキーパー方向に飛ぶ。突っ込んだ大高がキーパーの前でヘディングしコースを変える・・・」だった。普通はイメージだけで終わるのだが、今日はそれが現実になった。コースが変わったボールは、キーパーのセービング及ばずゴール右隅に決まった。正確なラスト・パス、相手DFに競り勝ってのヘディング、絵に描いたようなゴールだった。

後半も、速いスピードでの展開が続き、蒸し暑くなってきた天候で体力の消耗や熱中症が心配された。もう少し緩急をつけられれば、疲労度も抑えられると思う。相手も調子を上げ、再三チャンスが訪れるようになっていった。

1-0の場合、早い時点で1-1になると追う方が勢いに乗り、勝利することが多い。それを心配していたが、後半10分、中央右から才田が空いたスペースをドリブルで上がる。いいタイミングで前線に出た三好に絶妙のパス。三好は持ち前のドリブルでDFを抜き、体を張って止めに来たキーパーも抜き、無人のゴールへ。これで2-0となる。調子を上げてきた相手の勢いが、これで一気に削がれたように見えた。疲れも相当あったであろう、逆転の夢は叶わなかった。

前半フル出場してくれた船橋さん、後半駆けつけて出場してくれた高橋一平君、お疲れ様でした。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第4節・試合結果

2014-07-13(日) 宮城県リーグ2部④ 対F C イズミ

試合開始：11:13 (40分ハーフ) 加美陶芸の里グランド

【結果】3-2 で勝ち。

【得点者】三好、茂木、西本

【アシスト】大高、蔡、蔡

【スタメン】

G K : 印藤健也

D F ; 金田和鷹、小浜大山、木村燎平

M F : 才田悠人、三好就英、蔡亮成

F W : 大高康佑、阿部英次郎、残間諒、茂木淳

【控え】西本究、船橋富寿、秋保盛樹

【交代】大高康佑→西本究

【警告】小浜、+1

【ベンチ】鈴木修平、船橋富寿、秋保盛樹、小川修一

【評】

前日が台風一過の真夏日だったので、今日も暑さに気をつけなければと思っていた。しかし、天候は予想に反して、試合途中から強い雨となり暑さの心配ではなく、荷物の濡れの心配をしなければならなかった。

試合は、相手チームに選手証の無いプレーヤーがいて、その確認のため13分キックオフが遅れるとともに、確認されるまでの間、相手チームは10人での試合となった。

開始3分、木村がコントロールされたいいパスを大高に出す。大高は、相手DFと競りながら右タッチライン沿いをドリブルで上がる。ペナルティ・エリアに入った辺りで、狙いすまして低く早いパスを出した。ゴール前を横切ったボールは三好の足元に。三好はキーパーの動きを見、落ち着いて左上隅にゴール、1-0。

その後も、筋肉痛に耐えて出場した茂木が1点を入れ、楽勝かと思われたが、中盤の大半を支配していたにもかかわらず、簡単にはゴールを奪えなかつた。逆に前半23分、D F の乱れから2-1と迫られる。

後半25分、雨が強くなる中、西本が大高に替わって出場。今季初出場の西本だが、動きは軽快だ。

蔡が相手DFとキーパーの間に絶妙のパスを出した。オフサイドになりやすい位置だったが、西本はそこはしっかりと抑えD F に走り勝ち、出てきたキ

バーの一瞬前でタッチ、ボールは転々とゴールへ吸い込まれていった。これまで3-1。

終了間際の42分、1点を返され3-2まで追いつかれるが振り切った。

【課題1】中盤のボール支配

新しいチームになって9試合、いつも同じメンバーではないがD FとM Fでボールを回し、リズムを作つて前線に突破口を開くという組み立てができつつあるように見える。次のステップは、声を出して空きスペースに走り、その後ろのスペースに誰かが入り、そこにパスが出せるようになると得点の機会はもっと増えるだろう。

【課題2】得点力

現在、9試合で20点。1試合平均2.2点となっている。

試合を重ねるにつれ、決定的なチャンスを作れる回数も増えているが、1試合最低3点は欲しい。どんな相手でも必ず得点チャンスは巡ってくる。それを決められるかどうかが勝敗の大きな鍵になる。

今までの試合を見る限り、もっと点数は入つて良い。ポイントは、チャンスを作るプレーヤーと最終ゴール・シーンのイマジネーションを合わせることだろう。具体的には、左から阿部（英）、三好がドリブルでチャンスを作つたら、ゴールのニア・ポストに1人、ペナルティ・エリア内に1人必ず詰めることだ。これまでの経過を見るとこれで数点入つた可能性が高い。

【課題3】防御力

失点は少なければ少ない程良い。

しかし、どういう事態があるかもわからないから、2点は覚悟しなければならない。これまでの9試合で失点は18。1試合平均2.0点となっている。

これまでの試合を振り返り、今後改善出来そうなところは、カウンター攻撃で簡単にキーパーと1対1にならないようにすること。また、守りは1枚でなく、2枚3枚で行いたい。今後の課題だ。

(記：鈴木修平)

■2014クラブチーム選手権・準決勝試合結果

2014-07-20(日) 全国クラブチーム選手権4回戦（準決勝）対中新田SC

試合開始：10:00 (30分ハーフ) 松島運動公園G

【結果】1-2で負け。

【得点者】 大高

【アシスト】

【スタメン】

G K : 残間 謙

D F ; 加茂洋平、金田和鷹、知場三周、遠藤巧

M F : 才田悠人、蔡 亮成、三好就英、木村燎平

F W : 大高康介、阿部英次郎

【控え】 小浜大山

【交代】 遠藤巧→小浜大山

【警告・退場】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、嶺岸優

【評】

今年度最後のトーナメント、「全国クラブチーム選手権 準決勝」の対戦相手は中新田サッカークラブだった。昨夜までの強い雨が、明け方に小雨になり、グランドにとっては厳しいが何とか試合のできる状態であった。

10:00 キックオフ、30分ハーフなのでいつもの40分ハーフとは感覚を切り替えないといけない。案の定、こちらより若いメンバーが多い相手チームは、最初からガシガシやってきた。気迫溢れるプレーと荒い乱暴なプレーは紙一重である。ガチンコ勝負の相手ペースになかなか慣れることができなかったようだ。

相手チームには左と右に俊足のウィングがいて、持ち前のスピードであつという間に駆け上がり、よくコントロールされたセンタリングを上げてくる。

前半10分、何回目かの左のウィング攻撃で絶妙のセンタリングがゴール前に上がる。キーパー残間はキャッチしたかに見えたが、ボールは思い通りにならず相手にゴールを許してしまう。

その後、ようやく相手のペースにも慣れ、攻撃も少しずつ噛み合うようになってくる。しかし、相手のスピードある攻撃は全く衰えず、何度もビンチに陥る。キーパー残間はこれを悉く無にして0-1のまま前半を終えた。

後半に入り、相手の俊足FWの一人が足を痛めたか交替した。これでこちらにも少し余裕ができたか、五分五分の状態になる。得点になりそうな場面が何度か訪れ、期待が膨らむ。

後半7分、左サイドで中盤から少し長めのパスが大高に出た。グランド

のコンディションが悪く、普通ならキーパーが楽に処理できるボールだったが、大高はこれに軽く追いつきキーパーと対峙する形になった。大高はキーパーの動きを見て、右脇下にボールを通す。ボールはゴール右ポストぎりぎりにゴールイン。ベンチが久々に沸きに沸いた。

何度も得点するチャンスがあったにもかかわらず、1点しか入らなかつた相手チームは、この同点ゴールでかなり落ち込んだと思う。ゲームの流れは明らかに東北クラブに傾いたが、追加点を入れることができなかつた。逆に、後半20分、D Fのちょっとしたボールコントロールのミスから1点を相手に許してしまう。30分ハーフは、一度途切れた流れをとりもどすには短かすぎた。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第5節・試合結果

2014年08月17日(日曜日) 宮城県リーグ2部⑤ 対多賀城F C

試合開始：11:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Cグランド

【結果】3－1 で勝ち。

【得点者】大高，蔡，茂木

【アシスト】蔡，三好，大高

【スタメン】

G K：知場三周

D F；松浦弘志，阿部健康，金田和鷹，野口憲太

M F：才田悠人，蔡亮成，三好就英，木村燎平

F W：大高康佑，茂木淳

【控え】船橋伯之

【交代】なし

【警告】野口憲太

【ベンチ】鈴木修平，船橋富寿，秋保盛樹，小川修一

【評】

天気予報は、雨の確率70パーセントというので、雨の試合を想像していた。しかし、小雨がぱらついたものの濡れるほどではなかつた。先週、北大定期戦があり若手O Bとしての試合内容が良かったので、その流れが続いてくれることを期待していた。

正キーパー2人が来れないことがわかり、ちょっと困ったが知場三周君が自分から進んで引き受けてくれた。今日の対戦相手は当リーグで唯一負

けている「多賀城 F C」，前回の借りを返したいところだ。

試合はお互いボールを支配しようという思惑で始まった。相手はスピードも突破力もあるので警戒していたが，DFは前の試合で一度対戦しているので，動きがある程度読めるのか危険な芽をいち早く摘み取っていたようだ。

相手にも，こちらにも決定的なチャンスはあったが，キーパー知場の好守が得点にはさせなかった。最初にチャンスをモノにしたのはこちらだった。前半19分，何本かのパスがつながった後，最後は蔡が右からゴールライン近くまで切り込みセンタリング。ゴール前には2人いたが，大高にボールがあった。ちょっと体勢を崩しながらもヘディング，ボールはゴール左へ突き刺さった。素晴らしいシュートに相手ベンチも声を失っているように見えた。

前半は1-0で折り返し，後半に入る。相手は交代要員をフルに使って流れを変えようとしてきた。その効果もあり，動きも良くなり，ボールの支配率も相手が上回る時間が続き，ちょっと嫌なムードになってきていた。決定的なチャンスもお互い何回かあった。得点した方が有利になることは，お互い百も承知だったが，なかなか思い通りにはいかない。

それまで右からの攻撃が多くたが，ちょうど左が空いたときに相手左DFの裏にパスが通る。一気に相手DFを置き去りにした三好は，ゴールライン近くからセンタリング。後ろから俊足を飛ばして詰めていた蔡にピタリと合った。ボレー・シュートがゴール左隅に突き刺さる。キーパーが反応できないのは仕方がないゴールだった。これで2-0。

このまますんなり勝てると思ったかったが，後半21分，相手も意地を見せて中盤から地を這うようなロング・シュートで1点を返す。時間もまだあり，1点を返され同点にされるとひっくり返される可能性もあった。

しかし，後半33分，疲れの見えたDFをスピードの衰えない大高が，右からドリブルで突破する。左から詰めてきた茂木をゴールラインぎりぎりまで見極めセンタリング。茂木はこれを見事に決め，それまでの悔しいシュートの鬱憤をこれで晴らすことができた。これで3-1となり，時間も残り少なくなり勝負あつた。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第6節・試合結果

2014年08月24日(日曜日) 宮城県リーグ2部⑥ 対桑原F C

試合開始：10:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Aグランド

【結果】2-3で負け。

【得点者】三好、茂木

【アシスト】知場、才田

【スタメン】

GK：残間諒

DF；阿部健康、金田和鷹、野口憲太、遠藤巧

MF：知場三周、松浦弘志、才田悠人、三好就英

FW：大高康佑、茂木淳

【控え】船橋伯之、小浜大山

【交代】遠藤巧→小浜大山

【警告】遠藤巧

【ベンチ】鈴木修平、船橋富寿、秋保盛樹、吉田和朝

【評】

グランドは宮城県サッカー場Aグランド、申し分ない状態だった。天気は「晴れ」、朝から強烈な日差しで気温もぐんぐん上がり10時には30度を越していたようだ。

相手は「桑原F C」、今期初めての対戦である。試合は桑原F Cのペースで進んだ。中盤のボールは、まるでパスコースを読まれているかのように、圧倒的に桑原F Cが制していた。攻撃も巧みで、左の方からDFをいつも簡単にかわしてゴールまで迫ってきた。東北クラブの方は、いつものリズムになかなか乗れない。

前半7分、相手は何度目かの左からの突破で、低く早いボールがゴール前を横切る。相手FWはDFともつながらもボールにタッチ、ボールはコースが変わってゴールネット右隅に決まった。キーパー残間もよく反応したが、これは相手のシュートを誉めるべきだろう。

その後も、相手の攻撃は衰えず、ピンチが続く。体を張って止めた遠藤のプレーは警告となる。なかなか自分たちのペースがつかめない中、それでも失点を1点に抑えていた。1点差のまま後半につなげれば、まだまだ勝負はわからないと思ったアディショナル・タイムに、相手FWがゴール前で抜け出し、ゴール左ポストに当たって入るラッキーなシュートで貴重な1点を得た。0-2。

後半、疲れの見えてきた相手に対し、中盤を制するようになり、いつも

のように左右から展開できるようになった。前半、中盤を圧倒的に支配され、サイドからいよいよ攻められていた形が全く逆転した。

後半10分、右から知場が後ろから快足を飛ばして上がり相手デフェンスが追いつく前にゴール前にセンタリング。ボールは、ゴール前でバウンドした。左から詰めていたのは三好、ボールの球足が速かったので後ろに抜けると思われた。しかし、三好はこのバウンドした速く高いボールを振り抜いた。どう蹴ったかはわからない。次の瞬間、ボールはゴール右のサイドネットに突き刺さっていた。「度肝を抜かれた」と形容するにふさわしいゴールだった。

これで1-2となり、流れは東北クラブに大きく傾いた。その後も何本もいいシュートが続いたが、相手キーパーの好守もあり追加点はならなかつた。相手チームは、がら空きとなつたゴール前でシュートを外すなど、運もこちらに味方しているように見えた。

終了間際の後半39分、才田のコーナーキックを茂木がヘディング、こういう場面で何度も決めている勝負強さが今日も発揮された。ボールは誰も触れないままゴール左下に吸い込まれていった。これで2-2のタイとなつた。

誰もが「これで引き分け」と思ったに違いない。しかし、サッカーは最後までわからない。またもアディショナル・タイムにゴール前にセンタリングされ、ヘディング・シュートを決められ2-3。3-3にするのは無理だった。

0-2から、後半2点を返しタイにした精神力・技術力は素晴らしい。今日の試合の成果はこれに尽きる。この感覚を忘れず、次回以降にも生かしてほしい。最後の失点が無ければ、もっと良かった。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第7節・試合結果

2014年08月31日(日曜日) 宮城県リーグ2部⑦ 対一高済美

試合開始：14:00 (40分ハーフ) アディダス・スポーツパーク

【結果】3-4で負け。

【得点者】 茂木、高橋(一)、高橋(一)

【アシスト】なし、金田、茂木

【スタメン】

GK：残間諒

D F ; 金田和鷹, 知場三周, 野口憲太, 遠藤巧

M F : 松浦弘志, 才田悠人, 三好就英, 木村燎平

F W : 茂木淳, 高橋一平

【控え】小浜大山

【交代】野口憲太→小浜大山

【警告】金田和鷹

【ベンチ】鈴木修平, 船橋富寿, 秋保盛樹, 吉田和朝, 嶺岸優, 大津寄健一, 千田尊

【評】

長い間、サッカーをやっているがこのような経験は初めてだ。終了間際のロス・タイム(アディショナル・タイムとは敢えて言わない)に失点して負ける、しかも2試合続けて。麻雀のオーラス、もう牌も残り少ない。とにかく振り込まなければ負けは無い、という状況で役満を振り込んだような感じである。2晩続けて。(役満の上がり手は? Guess!)

冷静に考えれば、滅多にあることではないのが実際に経験した身としては、いい薬と思って次の糧にしたい。

試合は、前半12分茂木が相手からボールを奪い、2~3人D Fを抜き、キーパーの動きを見極めてゴール左に決めて先制した(1-0)。17分にはD F金田から相手M Fの間を抜けるパスが出る、ボールはトップにいた高橋(一)の足元へ、高橋(一)はD Fを背負いながらもゴールまで一気に詰め、冷静に決め2-0。「キラーパス」の見本のようなパスだった。

これで、流れは大きく東北クラブに傾いた。中盤の殆どを制し、面白いようにボールを奪え、パスはつながった。しかし追加点は得られなかった。逆に、一高済美は再三再四ゴールライン付近まで上がって来るものの攻めあぐんでいたが、D Fのちょっとした連携ミスにつけ込むことができ、ロス・タイムの44分に、貴重な1点をあげた(2-1)。この1点は後で大きく効くことになる。

後半に入り、中盤はほぼ互角。どちらが1点を取るかで試合の勝敗の行方が大きくかわる。そういう中、12分茂木がペナルティ・エリア付近まで切り込みラスト・パスを高橋(一)へ、キーパーと高橋(一)が交錯する。スピードに優る高橋(一)が一瞬早くボールにタッチし、ボールはゴールへ吸い込まれていった。これで3-1となり、ゲームの趨勢は決まったかに見えた。

しかし、得点直後の14分、芝生に滑ったM Fのバックパスが相手F W

に渡りシュートまで持つて行かれる。キーパー残間が一度は止めたものの、不運にもポストにあたりゴールとなってしまう。17分にもD.Fの守りのほころびをつかれゴールを奪われる。これで3-3となる。勢いづいた相手に、焦りからか中盤で勝負して抜かれ、ピンチを自ら招くという状況が続く。こういう時は、流れを変えるために、必要以上に大きくクリヤするとか、試合を止めることが大事である。落ち着けばそうそう点は入るものではないことはみんな知っているはずだ。

42分、またしてもロス・タイムに右から抜けられ、決定的なセンタリングを上げられヘディングを決められる。先週の桑原FC戦と恐ろしいくらいに酷似していて、背筋が寒くなった。2度あることは3度あるのだろうか？

【課題】

改善しようとする時の方法のひとつに、「なぜなぜ5回法」というのがある。

「なぜ、負けたのか？」→「ロス・タイムに点を入れられたから」

「なぜ、ロス・タイムに点をいれられたのか？」→「・・・・」

「・・・・」→「」

これを5回ほど繰り返すと、大抵は真の原因が見つかると言う。是非、話し合ってほしい。

【今日の成果】

3得点をしたこと。相手の神ががり的な3得点に対し、こちらの3得点は次につながる期待の持てる得点の仕方だった。これまでの左右からの突破攻撃に加え、「中央突破」という新しい攻撃に期待が持てる。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第8節・試合結果

2014年09月07日(日曜日) 宮城県リーグ2部⑧ 対七郷クラブ

試合開始：10:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Bグランド

【結果】3-5で負け。

【得点者】木村、松浦、知場

【アシスト】才田、茂木、茂木

【スタメン】

GK：残間諒

D.F；金田和鷹、遠藤巧、阿部健康、大津寄健一

MF：松浦弘志，才田悠人，知場三周，千田遵

FW：茂木淳，木村燎平

【控え】小浜大山

【交代】遠藤巧→小浜大山

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平，船橋富寿，秋保盛樹

【評】

明け方、雨が降っていて今日の試合は濡れ試合と覚悟していたが、運良く雨は上がり、太陽まで顔を見せてくれた。この2週間、2回ともイヤな負け方をしていたので、今日は朝一番の試合にもかかわらず、ほぼ全員時間通り集合し、気合が入っていることが感じられた。

相手は、七郷クラブ。これまで2戦してたまたま2回勝っているが、ユニフォームも新調し意気が上がっていた。試合は、静かな滑り出しで開始した。相手は、うまいパス回しで攻撃の糸口を作ろうとする。こちらは新しいメンバー2名が入り、最初こそパスの回し方などぎこちなかつたが、徐々に慣れつながるようになっていった。一進一退の展開の中、前半27分七郷クラブは何本かのパスがうまくつながりシュートまでいった。これが右下隅に決まり0-1となる。こちらの方にも得点のチャンスはすぐにやって来た。28分茂木がドリブルで攻め込みキーパーと1対1となる。茂木はキーパーをかわそうとした。いつもなら抜けている所だが、キーパーの捨て身のブロックに阻まれた。続いて29分、右からの攻撃でコーナーキックを得る。ゴール前左にいた木村は、コーナーキックと同時に右に走る。ボールはぴたりと木村の頭に合った。ヘディングに強い木村は、ボールの角度をゴール方向へ変える。スピードあるボールは、次の瞬間、ゴール左に突き刺さっていた。これでゲームの流れはこちらに傾きかけたようになれたが、37分ゴール前の混戦でこぼれ球が絶好の位置にいたFWに、これを決められ1-2で前半を終わった。

後半、立ち上がり8分、残間のファイン・プレーが相手の追加点を防いだ。しかし、ここから力の差がそれほどあるとは思えないにも関わらず、16分、25分、32分と立て続けに失点し、1-5まで突き放された。

このまま大差で敗れるかと思われたが、後半37分、センターラインから右タッチライン沿いに出た茂木へのスルーパス、DFが必死に追いかけるが距離は一向に縮まらない。茂木はあっという間にゴールラインに到達し、狙いすましてセンタリング。これに反応したのは松浦、体を倒しながら

らも正確に合わせゴールネットを揺らした。さらに2分後の39分、またも茂木がセンターサークル付近からのスルーパスを受け、ドリブルで相手DFを振り切り、出てきたキーパーもかわし、ゴールへパス・・皆、当然入ると思っていたボールはゴールバーに当たり、跳ね返る。「あ～っ」という溜息が漏れたが、そこにはいつの間に到達したのか知場が待っていた。これまでの2試合の鬱憤を晴らすかのような会心のシュートが決まった。

3-5で負けはしたが、後半終了間際の2得点で、これまでの暗雲は吹き飛んだ。次回にはいい気分で臨めるだろう。

今日は、北大OBの大津寄健一君、東北大現役の千田遵君のデビュー戦となった。二人とも初めての試合ながらよく活躍してくれた。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第9節・試合結果

2014年10月19日(日曜日) 宮城県リーグ2部⑨ 対FCイズミ

試合開始：12:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Cグランド

【結果】8-1で勝ち。

【得点者】大高(ハットトリック), 三好, 茂木, 千田(2点), 木村

【アシスト】茂木, 三好, 阿部(英)2点, 大高

【スタメン】

GK：残間諒

DF：金田和鷹, 木村燎平, 大津寄健一, 蔡亮成

MF：才田悠人, 三好就英, 茂木淳

FW：高橋一平, 大高康佑

【控え】松浦弘志, 野口憲太, 千田遵

【交代】三好就英→千田遵, 高橋一平→松浦弘志, 才田悠人→千田遵

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平, 秋保盛樹, 吉田和朝, 船橋富寿

【評】

今日は、雲ひとつ無い「秋晴れ」の中、久々に控えが3名もいる贅沢なメンバーでの試合だった。

1ヶ月以上も試合から遠ざかっていたことと、久々のメンバーの組み合わせだったこともあって、前半はなかなかリズムに乗れなかつた。一方、相手チームは長年のチームワークがパス回しに現れ、動きもよく攻勢が光った。

前半8分、相手チームのFWが左から華麗な個人技でDFを翻弄し、ゴールラインまで攻めあがってくる。早いセンタリングがゴール前を横切る。「あっ、まずい！」と思った瞬間、見事にヘッドで合わせられ0-1。勢いに乗った相手チームの攻勢にしばらくピンチが続いたが、DFがよく守りしのいだ。後で思えば、相手チームがこの時もう1・2点取っていれば試合の結果は大きく変わったのではないかと思う。

徐々に自分たちのペースを取り戻しつつあった自チームだが、なかなか得点には結びつかなかつた。前半も30分を過ぎ、ベンチに少し焦りが出てきた時、大高が茂木からのチャンスを得点に結びつけた(34分)。これで1-1、気持ちは一気に切り替わつた。そして37分、立て続けに三好が左から中に切り込み2点目を決め、いいムードで前半を終える。

後半、やっとリズムを取り戻し勢いづく東北クラブに対し、前半で体力を消耗した相手チームとの差が大きく出ることとなる。

3分、左から三好のドリブル、センタリングを大高がヘッドで決める。

8分、阿部(英)の右からのアーリー・クロスを茂木が叩きつけるようなヘディングをゴール左下隅に決める。

29分、大高が3点目を決め、ハットトリックとなる。

31分、千田の強烈なロング・シュートがキーパーの手をかすめて決まる。

34分、またもや千田が右からの大高のセンタリングを決める。

36分、阿部(英)が右から突破し絶妙のセンタリング。木村は一度トラップして狙いすましてゴール。

終わつてみれば8得点。そんなに点差が開くとは思わなかつたが、これまで3連敗だつただけにうれしい1勝であった。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ2部第10節・試合結果

2014年11月2日(日曜日) 宮城県リーグ2部⑩ 対アルドーレ桑原

試合開始：14:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Cグランド

【結果】2-0で勝ち。

【得点者】木村、阿部(英)PK

【アシスト】才田

【スタメン】

GK：印藤健也

DF：野口憲太、知場三周、木村燎平

MF：松浦弘志、才田悠人、蔡亮成、三好就英

FW：阿部英次郎，大高康佑，茂木淳

【控え】 残間諒，遠藤巧，千田遵，小松天道，高橋一平

【交代】 野口憲太→千田遵，松浦弘志→小松天道，阿部英次郎→遠藤巧

【警告】 知場，才田

【ベンチ】 鈴木修平，秋保盛樹，船橋富寿，小川修一，嶺岸優

和田啓，黒沼桃子，佐藤遙香，村岡優志

【評】

朝からお昼過ぎまで、天気予報を嘲笑うかのような快晴だった。しかし、天気予報は正しかった。試合開始の頃には、霧で遠くが霞んで見えなくなり、風が一層肌寒く感じさせた。

宮城県リーグに昇格しての最終試合の相手は「アルドーレ桑原」。前の試合では、スピード・テクニック・チームワークに圧倒され、攻めあぐね、ロス・タイムに勝ち越されて負けただけに、何としても勝っておきたい相手だった。加えて、今日はわざわざ応援に来てくれた人が4人もいて、そのためにもいい試合は必須という状況だった。

相手も、上位の成績を確保するには負けてはならない試合だけに、前の試合以上に気合が入った。ミスが命取りになるだけに、開始からお互い緻密な、正確な試合運びで進んだ。観ていても、ずっと緊張しっぱなしの状態だった。時折、激しいプレーもあり、審判が笛を吹かないため、試合が荒れることを懸念したが、両チームの自制でそれは無かつた。

前半も残り3分を切った38分、右から果敢に上がって何とかチャンスを作ろうとした蔡が、ペナルティ・エリア外の好位置でフリーキックを奪った。キッカーは才田。今期、5点のアシストを物にしている才田に、ベンチの期待は否応なく高まる。ボールは、DFの頭上を越え、キーパーの後ろまで伸びた。DFの木村がこれを高い打点でヘディング。見事なゴールを決めた。DFがここまで上がって来たことも特筆すべきだが、決めた時間も最高の時間帯だった。

後半、相手の足が少し止まったように見えたところで、若い疲れの無い選手に交代し、一気に点差をつけたかったが、相手の気力が優り追加点はなかなか奪えなかった。そんな膠着状態が続いた20分、阿部(英)が、右ペナルティ・エリア内右でDFをドリブルで抜き、フリーでシュート・・と皆が思った時、抜かれたDFはたまらず倒してしまった。誰が見ても、PKだった。しかし、この時間帯のPKは大きなプレッシャーがかかる。いつも決めているとはいえ、入るのと外すのでは結果に大きく影響する。

阿部(英)は、いつものテンポでボールをセットし、強烈に蹴った。キーパーはヤマを張って左に飛んだ。いつもは大抵左隅に決めているので、蹴った瞬間「×！」とベンチは引きつった。しかし、ボールはキーパーの裏をかいて、ほぼ中央に決まった。

その後も、緊迫した気の抜けないを試合展開に終始し、最終戦にふさわしい試合内容であった。これで、6勝4敗、昇格した初年度としてはいい成績だと思う。内容も得点32、失点19で得点力は6チーム中ダントツ1位。1試合の平均得点は3点以上、得点力のあるチームは魅力的である。

(記：鈴木修平)

■宮城県リーグ入替戦・試合結果

2014年12月21日(日曜日) 宮城県リーグ入替戦 対KEMONOin楢木

試合開始：11:50 (40分ハーフ) 七ヶ浜サッカースタジアム

【結果】0-2で負け。(県リーグ2部に残留)

【得点者】なし

【アシスト】なし

【スタメン】

GK：印藤健也

DF：金田和鷹、知場三周、木村燎平、大津寄健一

MF：松浦弘志、蔡亮成、三好就英、千田遵

FW：茂木淳、大高康佑

【控え】 残間諒、野口憲太、船橋富寿

【交代】 大津寄健一→野口憲太

【警告】 印藤、蔡

【ベンチ】 鈴木修平、船橋富寿、小川修一、喜多恒仁

村岡優志、佐藤遙香、(小川譲次)

【評】

前の日は、みぞれ混じりの冷たい雨だった。冬だから寒さは仕方ないが、できれば雨はナシにしてもらいたいと願っていた。

今日は、七ヶ浜の高台にある「七ヶ浜サッカースタジアム」が試合会場。県リーグの人替戦である。最後の試合から1ヶ月半以上も空いて、しかも冬の寒さが身にこたえる季節になっており、試合感覚が鈍っていないか少し心配ではあった。相手は、「KEMONOin楢木」という、県リーグ1部7位のチームとなった。海が近いせいか風は強く冷たいが、太陽が眩しいくらい

の良い天気となった。天然芝の状態も悪くなかった。

11時50分、キックオフ。お互い初めての対戦相手である。相手の力量を肌で感じながら進めようとする思惑で試合は始まった。ボールをつなぎ、リズムをつけて得点の機会を作ろうとする東北クラブに対し、中に入ってくるボールをことごとく蹴り出し、流れを切ってくる「榎木」。タッチライン沿いにクリアし、うまく味方にボールがつながれば、FWがそこから個人技で切り込んでチャンスを作るという戦法に見えた。これに対しては、DFが手堅く守ればそうそう点は入らないだろうと読んだ。

しかし、前半8分、まだ動きに固さを感じられる中、相手ボールがセンター・サークルからペナルティ・エリアにバウンドしてきた。普通に処理できるボールだったが、DF2人が交錯してぶつかり、ボールを見失ってしまった。ボールは相手FWの目の前に落ちた。何でもないはずの場面が、FWとキーパーの1対1という場面に急変した。ワンタッチして蹴ればゴール、という状況だったが、果敢に飛び出して来た印藤は、捨て身でボールを止めようとして相手FWと交錯した。ボールはゴールの外に転がり、相手FWは倒れている。主審の笛が鳴り、キーパーにイエロー・カードが出され、相手にペナルティ・キックが与えられた。これが決まり、0-1となる。

その後も、前半は相手チームの「大きくクリアして、FWがそれを拾い個人技で切り込む」という戦法は変わらず、そのうちの1本がコーナーキックとなり、これを競ったDFのヘディングがコースを変えゴールとなり2点目を失う。前半27分。0-2とはなったが、今期平均3点以上の得点結果を残しているので、焦りはなかった。勝負は後半と踏んだ。

後半になると、パスもうまく回り、リズムが出てきた。相手の動きには少し陰りが見えてきたこともあり、東北クラブのペースになり得点は時間の問題と思われた。しかし、ゴール前で普通なら何でもなく決まるゴールが、たまたまいたDFに当たって入らなかつたりという場面が続いた。いい試合をしながら、結果は0-2で負け。「もう少し、今のところで力をつけなさい。」という声がどこからか聞こえたような気がした。

今日の試合で、初めての相手で力量がわからない時は、大きくクリアしてプレーを寸断し、それをFWが拾って個人技で切り込むという戦法は有効かもしれないと思った。トーナメントの時に、試してみる価値がありそうだ。

(記：鈴木修平)



2014年5月18日 対TOUHOKU FC 松島フットボールセンター



2014年11月2日 対アルドーレ桑原 宮城県サッカー場Cグランド

第38回 宮城県サッカーリーグ2部個人成績表 得点ランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	鈴木竜樹(多賀城)	7
1	佐藤浩介(七郷)	7
3	茂木 淳(東北)	6
4	兼平紘季(七郷)	5
4	大高康佑(東北)	5
4	鈴木宗俊(多賀城)	5
4	山口由真(桑原)	5
8	三好就英(東北)	4
8	晴山卓哉(桑原)	4
8	阿部英次郎(東北)	4
8	佐藤郁哉(一高)	4
8	浦山義人(多賀城)	4
8	畠 勝史(七郷)	4
8	柴原一陽(イズミ)	4
15	木村燎平(東北)	3
15	熊谷伸彦(七郷)	3
15	澤 和宏(桑原)	3
15	引地敏生(多賀城)	3
15	阿部雅大(イズミ)	3
20	伊藤敬文(一高)	2
20	高橋一平(東北)	2
20	佐藤 誠(一高)	2
20	岩崎克彦(桑原)	2
20	荻島 郷(桑原)	2
20	金田安生(イズミ)	2
20	村山達也(一高)	2
20	宇野哲秋(桑原)	2
20	菊地将徳(桑原)	2
20	佐々城真(イズミ)	2
20	千田 遼(東北)	2
20	大学 孝(一高)	2
20	佐々木勇太(多賀城)	2
20	本郷勝太(七郷)	2
20	庄子信彦(イズミ)	2
20	高橋宗徳(一高)	2
20	鈴木大地(七郷)	2
20	蔡 亮成(東北)	2
38	遠藤健一(桑原)	1
38	浦山将輝(多賀城)	1
38	荒谷和樹(七郷)	1
38	浦山大輔(多賀城)	1
38	伊藤貴志(イズミ)	1
38	小林航太(桑原)	1
38	白川裕貴(多賀城)	1
38	青柳吉彦(桑原)	1
38	知場三周(東北)	1
38	伊藤瑛将(イズミ)	1
38	大箱将紹(七郷)	1
38	津島 輝(桑原)	1
38	西本 究(東北)	1
38	桑原卓哉(東北)	1
38	宮田 遼(イズミ)	1
38	高橋 優(イズミ)	1
38	高橋恒史(一高)	1
38	千田 進(多賀城)	1
38	山田康二(多賀城)	1
38	松浦弘志(東北)	1

アシストランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	才田悠人(東北)	6
1	澤 和宏(桑原)	6
3	熊谷伸彦(七郷)	5
3	浦山義人(多賀城)	5
5	茂木 淳(東北)	4
5	阿部英次郎(東北)	4
7	石崎克彦(桑原)	3
7	大高康佑(東北)	3
7	蔡 亮成(東北)	3
7	鈴木竜樹(多賀城)	3
7	津島 輝(桑原)	3
7	佐々城真(イズミ)	3
13	鈴木宗俊(多賀城)	2
13	牧 裕也(多賀城)	2
13	吉田裕喜(桑原)	2
13	三好就英(東北)	2
13	佐藤郁哉(一高)	2
13	浦山将輝(多賀城)	2
13	佐藤浩介(七郷)	2
13	浦山大輔(多賀城)	2
13	寺崎容平(多賀城)	2
13	田中翔太(一高)	2
13	知場三周(東北)	2
24	大場雅斗(一高)	1
24	村山達也(一高)	1
24	伊藤敬文(一高)	1
24	柴原一陽(イズミ)	1
24	金田和鷹(東北)	1
24	高橋宗徳(一高)	1
24	坂上 生(七郷)	1
24	山本 純(七郷)	1
24	庄子 大(イズミ)	1
24	山田康二(多賀城)	1
24	青柳吉彦(桑原)	1
24	田中大貴(イズミ)	1
24	兼平紘孝(七郷)	1
24	佐々木悠輔(一高)	1
24	赤崎友哉(七郷)	1
24	鈴木大地(七郷)	1
24	菊地将徳(桑原)	1
24	荒谷和樹(七郷)	1
24	畠 勝史(七郷)	1
24	照井慎也(七郷)	1
24	大箱将紹(七郷)	1
24	越川直孝(桑原)	1
24	金田安生(イズミ)	1
24	小松天道(東北)	1

